

令和7年度 第1回 竹の台小学校 学校運営協議会

1. はじめのあいさつ(学校長)

・GWが終わり、再スタート。どの学年の子供たちも、元気に登校してきている。

2. 1年生の教室を参観

・給食を食べている様子を参観した。

3. 学校運営協議委員の委嘱 (8名+オブザーバー3名 の計11名)

・自己紹介

・教育長のメッセージ動画を視聴

4. 子供たちの様子(総務)

・竹の台小学校の子供たちは、元気よくあいさつをして登校している。ただ、「自分からあいさつをする」ことに課題が見られる。朝会の話や週目標、クラスでの話を通じて、あいさつの大切さを伝えていきたい。

・時間ぎりぎりに登校してくる子は少ない。

・授業では、24日にある運動会に向けてどの学年も頑張っている。

・毎週「連絡会」を職員室で開き、クラスの様子やトラブルについて職員同士で情報を交換・共有している。職員同士で連携して指導に当たってきたい。

・「すてきな友達」という取り組みをもひとつのきっかけとして、子供たちがお互いを認め合う温かい竹の台小学校になればと考えている。

5. 学校運営方針(校長より) 本校の教育目標、本年度の重点目標、努力目標について

・学校教育目標とめざす子供像は、「思いやりのある子」「つながり合う子」「きり拓く子」の3つ。この目標は、大人になっても大事な内容。この内容がベースにある人間であれば、場所が変わったとしても、地域の中で活躍したり、お互いを支えたりすることができる。

・学校は安全安心が一番大事だが、失敗もある。失敗も含めて成長していくための練習場。失敗をきっかけに、子供たちが何かをつかんだり、周りの子が感じたりして成長していく。その中で、子供たちを育てていきたい。

・教師目線の目標として、授業の中で「自分の思いをもち、自分らしく表現する力」を育成する。それぞれの学年に付けたい力をイメージしながら、授業づくりを進めていく。

○教師が心にとめておくこと

①「こどもがまんない」子供たちを中心として、教師が動いていく。

②「地域(保護者・こども・学校)」地域の中でお互いに力を合わせて、町をつくっていく。町を作る人材として、子供たちを育てていく。

③「わたしたち(教職員)」学校の中の組織として、人間として、仲間意識をもって、尊重して高め合っていく職員集団であること。

○実践していくこと

・「授業改革」個別最適な学び・協働的な学びの具現化

- ・「資質向上」 個人の資質を高める努力をしていく。
- ・「業務改善」 無駄をなくして、短くした時間を子供たちの授業づくりなどにあてていく。
- ・「地域とともに」 何を地域から得るのか、学校は何を地域に還していくのか。

(質問) 自分らしく表現するに関して。西神中学の新1年生が中学生になって、決意の作文を書いていた。文章力がすごくて、小学校の6年間の積み重ねを感じた。重点的に取り組んでいることはあるのか。

→ 国語を中心に、いろいろな教材を通して読み、書き、話をする力を高めている。

・学年やクラスの取り組みによって。例えば、取り組みの一つに、ほめ言葉のシャワーがある。一年間続けることによって、子供たちの言葉が変わってくる。表現力に加えて、温かさが加わる。相手を意識して伝えることで、自分らしい言葉を使って相手の事を表現する力が磨かれていった。

・教科書の中で、文章を作る上で何か目的がある文章を書く。起承転結の組み立てを考えるなど、学年に応じて少しずつ作られていく。

・本の読み聞かせをしていただいていること。自分で本を読むこと。

・家庭の力。

・さまざまな取り組みが実を結んでいる。

(質問) インプットがないとアウトプットされない。学校での、読書や言葉のインプットの重点的な取り組みは何かあるか。

→ 研究授業を低中高に分かれて、3本している。協働的な学びの具現化として、全部知識を教え込むのではなく、得意不得意があるなかで、みんなで一つを目指していく。研究授業をしながら、教材を読み込んで授業改革を目指していく。

(質問) 話し合いや教え合いなどのコミュニケーションが不得意な子もいる。そういう子たちは、学校に来にくくなっていないか。

→ コミュニケーションによって、トラブルもある。それが学びであり、教師も入って一緒になって調整していく。苦手な子に関しては、バランスを取りながら関わっていく。

(質問) アクティブ・ラーニングについて。できる子はできるが、できない子はグループの中で置いてきぼり。最近、聞かなくなってきたが、今ではどのように扱っているのか。

→ 10年ごとに学習指導要領が時代とともに変わる。アクティブ・ラーニングがなくなったわけではなく、言葉が変わり、今も続いている。個別最適な学びや協働的な学びの具現化など。個人で自分に合った学び方を見つけていけるようにしていく意識付けをしながら授業を組み立てていく上で、アクティブ・ラーニングも必要。苦手な子に対して教師がどのように声をかけて、働きかけて、輝かせるかが大事。

6. 年間行事予定(教頭)

- ・5月24日 運動会
- ・6月13日 学校公開デイ
- ・7月7、8、10、11日 個別懇談会
- ・7月18日 給食最終日 1学期終業式
- ・8月12日～15日 学校閉校日

- ・8月29日 夏季授業日
- ・9月1日 2学期始業式 給食開始
- ・9月4日 授業参観 5年自然学校説明会
- ・9月8日 たけのっ子サポーター会議(2回目)
- ・9月26日 学校運営協議会(2回目)
- ・9月30日 全校造形の会 6年修学旅行保護者説明会
- ・10月8日～10日 5年自然学校
- ・10月29日 児童音楽会
- ・11月1日 音楽会
- ・11月9日 竹の台ふれあいまつり
- ・11月13日～14日 6年修学旅行
- ・12月8、9、11、12日 個別懇談会
- ・12月24日 給食最終日 2学期終業式
- ・1月7日 3学期始業式・書初会 給食開始
- ・1月16日 学校公開デイ
- ・2月5日 たけのっ子サポーター会議(3回目)
- ・2月13日 学校運営協議会(3回目)
- ・2月26日 授業参観・懇談会
- ・3月23日 卒業式
- ・3月24日 3学期終業式・離任式

(質問)夏季授業日、授業時数の確保なのか、2学期からのスタートをスムーズにするためなのか。

→両方が理由。全市一斉の取り組みである。

(質問)10月の陸上記録大会とは、竹の台なのか、全市なのか。

→全市の取り組み。

(質問)地域で、お休み期間中にウサギのお世話をすると思うが、期間はいつまでなのか。

→8月8日～17日、12月30日～1月4日

(質問)去年伝えた、校外学習の意見を反映していただきありがとうございます。5、6年生は自然学校や修学旅行だけなのか。

→自然学校や修学旅行以外にも、校外学習に行く。

(質問)校外学習の行先は、毎年検討するのか。例年通りなのか。

→なくなることはおかしい。なくなる理由は説明が必要であり、それにあてがうものをする必要がある。職員も変わるが、前年度の引継ぎのファイルをベースにししながら、基本的は同じようなところや、種類の似た場所で検討する。

7. 1年生以外の教室を参観

8. 意見交換

(質問)教科担任が難しいだろうなと感じている。各担当の先生が、子供の特徴を知っておく必要があるため。5年生

以外の学年の、教科担任の状況について教えてほしい。

→高学年は教科担任をしないといけない流れ。時代はチーム担任制にシフトしつつある。良い面もある。いろいろな角度からいろいろな先生が物事や子供たちを見ることができる。専門になるので、そういった面では授業がコンパクトになり、授業ごとに修正もできる。しかし、学年同士で打合せはしづらい面もある。また、同じ教科だけしか授業をしないと授業力が高まりにくいという課題があるので、期間ごとに教科を交換するようにしている。また、空いている時間に他の担任がどのように授業をしているのかを見る機会をつくるように声掛けをしている。

(質問)小学校の先生は専門の教科があるのか。教科担任制で、どの教科をだれが担当するのかはどうやって決めるのか。

→小学校の先生は全部の教科。担当する教科は学年で相談する。専門性があったり、得意な科目があったりして決めていくことがあるが、教師も学び続けて授業力を高めるためにも変えていく必要もある。

9. その他 ・振込口座の確認(教頭)

・振込口座の確認

10. 終わりのあいさつ(委員長)

・学校の方針が詳しく聞けてよかった。

・若い先生が多い。子供たちと楽しそうに一緒に遊んだり、学習したりしているので、サポートしていきたい。

・何かあったら、学校運営協議会のときに話ができれば。

※次回の学校運営協議会は、令和7年9月26日(金) 13:00~15:00